

2025年2月4日

報道関係各位

GMO メイクショップ株式会社

GMO メイクショップ LINE を活用した CRM ツール「ソーシャル PLUS」と連携開始 ～ 「GMO クラウド EC」で顧客に合わせた LINE マーケティングを実現し、 顧客エンゲージメントの強化を支援～

GMO インターネットグループの GMO メイクショップ株式会社（代表取締役社長 CEO：向畑 憲良、以下、GMO メイクショップ）は 2025 年 2 月 4 日（火）より、株式会社ソーシャル PLUS（代表取締役社長：佐藤 亮介）が提供する「ソーシャル PLUS」と連携を開始いたしました。

「ソーシャル PLUS」は、LINE ログイン^(※1)を活用した CRM ソリューションで、顧客との関係を強化するためのツールです。EC 事業者は LINE ログインを通じて自動的に友だち追加と ID 連携をおこなうことで、顧客データを効率的にマーケティング利用することができます。顧客をより深く理解することで、最適なタイミングで最適なメッセージを届けることが可能となり、CRM 施策の精度を大幅に向上させることができます。

なお、本オプションは、オーダーメイド型 EC サイト構築プラットフォーム「GMO クラウド EC」の利用者が対象となります。



(※1) LINE アカウントを利用して、Web サイトやアプリにログインや会員登録ができるソーシャルログインのひとつ

https://www.socialplus.jp/content/sociallogin-overview?utm_source=blog.socialplus.jp&utm_medium=referral&utm_campaign=linelogin

【「GMO クラウド EC」について】

「GMO クラウド EC」は、中規模～大規模 EC サイトに必要なカスタマイズに対応したオーダーメイド型 EC プラットフォームです。SaaS でありながらも独自要件に対応可能で、BtoC、BtoB、オークション、リユース、モール構築、OMO、単品通販、などに対応し、ニーズに合わせたフルカスタマイズを叶え

ます。また、「ヘッドレスアーキテクチャ」を採用しているため、構築後もフロントサイトやチャネルの追加・改修が容易におこなえます。さらに、機能とセキュリティは自動的にアップデートされるので、運用負荷を軽減しながら安全性の高い EC サイト運営を叶えます。

【連携の背景】

LINE は日本国内で 9,700 万人以上^(※2) の月間アクティブユーザーを持つ主要コミュニケーションアプリです。EC サイトにおいても LINE を活用したマーケティングやカスタマーサポートの需要が増加しており、顧客エンゲージメントを高めるために欠かせない要素のひとつとなっています。

「GMO クラウド EC」ではエンタープライズ企業向けの大型 EC を多く構築しています。エンタープライズ企業は、大規模な顧客基盤を持っているため、従来は広範な人々に向けたマーケティングを主としていましたが、昨今では一人ひとりの顧客に適したアプローチが求められるようになりました。LINE はメルマガよりも高い閲覧率でアクションにつながりやすいため^(※3)、有力な手段として注目されています。今回「GMO クラウド EC」が、「ソーシャル PLUS」と連携することで、一人ひとりの顧客に適した LINE マーケティングを実現し、顧客満足度の向上とエンゲージメントの強化を支援します。

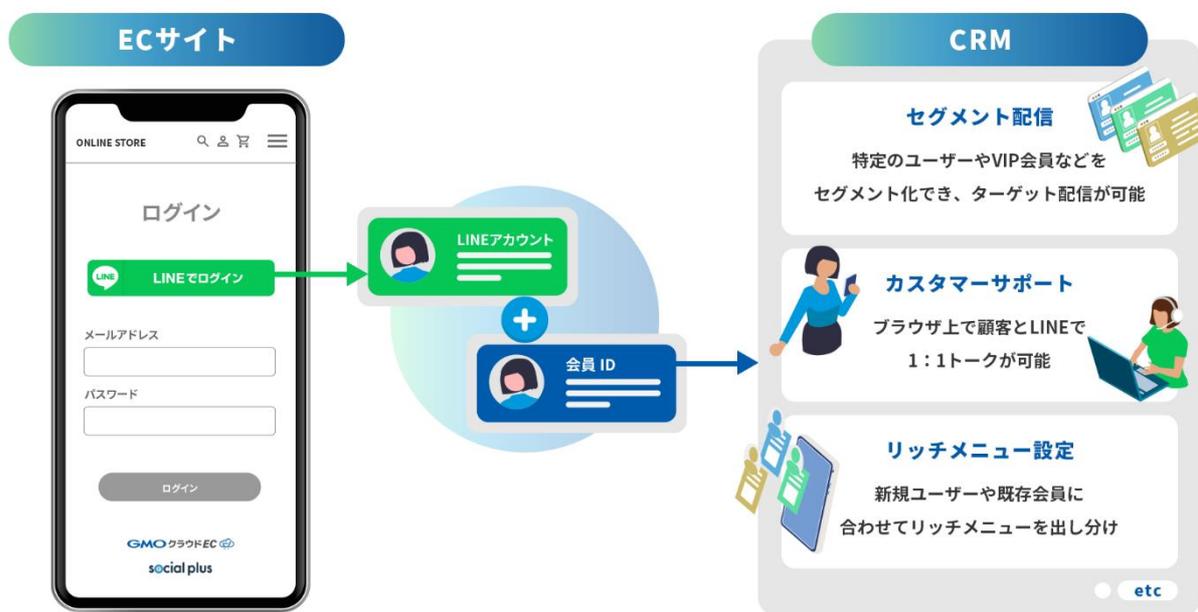
(※2) LINE ヤフー for business 「LINE ヤフーの強み」より

<https://www.lycbiz.com/jp/strength/>

(※3) LINE キャンパス「アカウント運用の流れを知る」より

<https://campus.line.biz/line-official-account/courses/operation/lessons/oa-3-1-1>

【「ソーシャル PLUS」連携の概要】



「ソーシャル PLUS」は、自社の EC サイトに LINE ログインを導入することで、会員登録やログイン時に自然な形で友だち追加や ID 連携を完了する仕組みを提供しています。

LINE ログインの導入は、会員登録の利便性を向上させるだけでなく、EC サイトの会員情報と連携した LINE 公式アカウントの効果的な活用 (CRM) も可能にします。具体的には、ID ベースのセグメント配信やリッチメニューのカスタマイズができ、パーソナライズされたメッセージの配信や、EC 購入履歴に基づくプロモーションが容易になります。これにより、顧客エンゲージメントの向上をサポートします。

■ LINE の CRM 施策例

「ソーシャル PLUS」を使うことで、ID 連携した特定のユーザーに最適化されたメッセージやリッチメニューを手軽に配信できます。以下はその具体的な施策例です。

・セグメント配信

ユーザーの会員 ID と LINE の ID を紐付けることで、特定の商品を購入したユーザーや VIP 会員などをセグメント化し、ターゲット配信が可能です。これによって、顧客の行動データを活かした効果的なメッセージを送ることができます。

・カスタマーサポート

ブラウザ上で顧客と LINE で 1 : 1 トークが可能となり、本人確認や契約内容を把握した上でスムーズに問い合わせ対応をおこなうことができます。

・リッチメニュー設定

新規ユーザーや既存会員に合わせたリッチメニューを出し分けることができます。タブ型リッチメニューを利用して配信面を増やし、限られたスペースを効果的に活用できます。

対象	「GMO クラウド EC」をご利用の EC 事業者様
ソーシャル PLUS ご利用料金 ^(※4)	初期費用：80,000 円（税抜） 月額：80,000 円～（税抜）※顧客数に応じて変動します
お申込み方法	お申込みをご希望の方は、下記問い合わせフォームよりご連絡ください
詳細 URL	https://www.cloudec.jp/contact/

(※4) 別途、「GMO クラウド EC」のご利用料金がかかります。

【「ソーシャル PLUS」について】 (<https://www.socialplus.jp/>)

「ソーシャル PLUS」は ID 連携を強みとする、LINE を活用した CRM・ソーシャルログインサービスです。会員 ID と LINE などのプラットフォームの ID を連携し、顧客データに基づいたメッセージ配信等の CRM 施策を実現可能にします。

【GMO メイクショップ株式会社について】

GMO メイクショップは「Commerce for a better future. / 商取引でより良い未来に」をミッションに掲げ、ネットショップ支援事業を展開しています。EC 構築支援から、EC マーケティング支援、EC 運用受託まで対応し、また、運営資金調達のための補助金・助成金の申請支援や、EC の売上を最短即日入金する『即日売上入金 サービス』提供によるキャッシュフロー改善支援など、EC 領域における一気通貫の支援体制を整えています。

12 年連続で業界 No.1^(※5) の EC サイト構築 SaaS 「makeshop byGMO」をはじめ、上位版サービスと

して、カスタマイズに対応する「GMO クラウド EC」も提供し、スタートアップから大規模 EC まで、あらゆるビジネスの EC 化をサポートしています。

今後も GMO メイクショップは、広範な EC 領域において店舗様が抱える様々な課題を解決できるよう、サービスの強化を図り、国内の EC 市場の活性化に貢献してまいります。

(※5) EC 構築サービス運営企業各社の発表数値より SaaS 型の数値を比較 (GMO メイクショップ社調べ 2024 年 4 月時点)

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO メイクショップ株式会社
事業推進部 広報担当 高橋・木村
TEL : 03-5728-6227
E-mail : pr@ml.makeshop.jp

●GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 田部井
TEL : 03-5456-2695
URL : <https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMO メイクショップ株式会社
「GMO クラウド EC」営業窓口
TEL : 03-6630-9351
E-mail : cloudec@makeshop.jp

【GMO メイクショップ株式会社】 (URL : <https://www.makeshop.co.jp/>)

会社名	GMO メイクショップ株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 CEO 向畑 憲良
事業内容	■ネットショップ支援事業 (EC 構築支援・EC マーケティング支援・EC 運用受託)
資本金	5,000 万円

【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証 プライム市場 証券コード : 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業